



三方よし

藤枝市立藤枝中央小学校

【子は大人の鏡】

校長 新村和彦

A子さん（6年生）の素敵な作文を紹介します。

私は、今日の帰り道すてきな方に会いました。私とB子ちゃん、C子ちゃんと帰っているときです。

車が右に曲がろうとしていました。前に何人が歩いていき、車の運転手さんが待っていたので、今度は私たちが止まりました。こういうことはよくあり、運転手さんは毎回ふつうに行ってしまうか、おじぎをしてくれるかです。今回もそうなのかなと思いました。



しかし、その運転手さんは、私たちの方を見て、おじぎをしてくれました。それも笑顔で、止まっていていいにです。こんなにすてきな運転手さんは見たことがありません。とっても良い気持ちでしたし、うれしかったです。

校長先生が道徳だより「三方よし」で書いてあったように、すてきで心がきれいな人は本当にいること、そして、その人に出会えたことが本当にうれしいし、あこがれます。その運転手さんに会ったあと、3人で、「優しくていい人だね!」と話しました。話しているうちに、こんな人になりたい!今からなりたい!と思いました。

これからも、どんな人に対してもありがたいの気持ちを忘れずに感謝を伝えていきたいです。まずは運転手さんに。伝えられなかったけれど、こんな気持ちにしてくれる行動をとってくれてありがとうございます。

担任のコメント：

校長先生の三方よしの話を、すぐに自分の生活に結びつけて素敵な人を見つけられるなんてすごい! 運転手さんの優しさに気付くところできたAさんも、とっても素敵な人だなと思います。

道徳だよりNo2「三方よし」で、「ちょっとしたことですが・・・」という題名で、『「こんにちば」の一言も、道を譲ってもらったときのハザードも、軽く頭を下げる行為も、にこっとした笑顔もちょっとしたことなのですが、相手に対して安心感や心地よさを与えているはずです』と書きました。担任のコメントにあるように、運転手さんの「ちょっとしたこと」に感激し、自分も運転手さんみたいになりたいと思ったAさんも本当に素晴らしいと思います。



子どもに対して、「ちょっとしたこと」が、こんなに影響力があるのだとしたら、私たち大人は、いつも「ちょっとしたこと」を意識して生活していかなければと思うべきですよ。【子は親の鏡】という諺があるように、【子は大人の鏡】であるとすれば、誰に対しても「ちょっとしたこと」(思いやりのある態度・あたたかな声かけ・優しい笑顔など)を、私たち大人が意識すれば、子どもたちによい影響を与え、藤枝中央小学校が大切にしている「三方よし」の素敵な世の中になるのになぁと思います。